（別紙５）

公表　児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	COCOLO東淀川

公表日　2026年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	90㎡以上の解放感あふれるスペースを確保するとともに、プログラムに応じてエリアを分けたり個室を活用して療育に取り組んでいます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	5	指定基準を満たしており、職員が少ないと判断した場合には系列事業所と連携協力して職員の増員を図っています。	新規採用を積極的にすすめると共に、今後も職員が少ないと判断した場合には系列事業所と連携協力して追加増員を図っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	お子様にもわかりやすく開放感あふれる環境づくりに努めており、必要に応じてスロープを設置することでバリアフリー化をすすめています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	日頃から衛生管理を徹底し、喚起や消毒、手洗いをおこなって清潔な環境を整えており、心地よく開放感あふれる環境づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	7	1	相談室などの個室を利用して、個別課題や、集中して取り組む療育課題に取り組んでいます。今後も清潔で安心して過ごせる環境を提供いたします。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3	定期的な面談や会議と日々の朝礼などを通じて、お子様の最善の利益を探求し、改善すべき点に優先順位をつけて改善に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	当事業所のホームページで公開しています。今回の評価表の内容に基づいて業務改善に繋げてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	定期的な面談や、朝礼や会議で皆の意見を把握し業務改善につなげる取り組みを日々おこなっています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	東淀川区や淀川区の事業所と担当者会議の機会等に療育の様子を評価していただき、業務改善につなげています。	今後、第三者による外部評価専門機関等への依頼も検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	地域部会の研修会参加や、外部研修の案内と共に、スキルアップの為の社内研修会等を定期的に実施しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	7	1	専門家や国家資格保持者が発案したプログラムを用い適切な療育方法を検討し支援プログラムを作成し公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	2	当社指定アセスメントシートを使用し、医療機関からの情報や発達検査の結果等も踏まえ児童と保護者のニーズを客観的に分析して作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	児童発達支援ガイドラインと本人支援の5領域に基づき、関わる職員の共通理解の下で児童にとって最善の支援内容を設定しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	朝礼、定期的な会議やモニタリング時に職員間で支援計画に沿った支援を行えているかの確認を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	標準化されたアセスメントと共に、日々のお子様の様子や活動を書面で控えると共に、会議を通じて多角的な視点で確認をおこなっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	児童発達支援ガイドラインと本人支援の5領域に基づき、児童発達支援管理責任者のもと児童指導員や保育士、有資格者との共通理解の下で、児童にとって最善の支援内容を具体的に設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	児童発達支援管理責任者のもと、保育士、児童指導員、有資格者らが協力して適切な療育方法を検討し活動プログラムを作成しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	音楽・運動・ダンス・製作・言葉・外出・ルール・集団・季節等、担当者を変更しつつ多角的な活動プログラムを実施しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	お子様それぞれの発達に応じて、集団活動と個別活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	業務開始前に朝礼やミーティングを行い、役割の確認と業務分担をチームで行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7	1	支援終了後に職員間で支援の振り返りをおこない、その日の支援記録を確認することで気付いた点や課題を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の支援記録の内容を記録し共有することで日々の検証・改善に取り組み、PDCAｻｲｸﾙにつなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2	モニタリングを定期的に行い、職員ミーティングで支援内容の見直しの必要性を常時検討しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	お子様への日常的な療育や状況に精通した職員がサービス担当者会議等の各種会議に参画し出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	必要に応じて、主治医の指示書や意見書をお預かりして、学校等の各種関係機関と連携共有する支援体制のもとで療育をおこなっております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	3	移行先や保護者の要望に応じて、支援内容等の情報共有をおこない、保育所等訪問支援やサポートブック等のツールを活用して情報提供や相互理解をおこなっております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	就学時や移行時には支援内容等の情報共有をおこない、日々の活動の様子を情報提供することで相互理解を図っています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	4	4	地域の自立支援協議会へ出席した際や、児童発達支援センターへ連絡訪問して連携をはかり、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	外出支援の際に地域の公園で、地域の子どもたちや保育園や小学校の子どもたちとの挨拶や交流をおこなっています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	ご利用いただいた送迎のお送りの際に子どもの発達の状況や課題について報告を行うと共に必要に応じて 個別に相談の時間を設けています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5	送迎時のお送りの際を中心に、対応などの提案を心がけています。また必要に応じて外部研修によるﾍﾟｱﾚﾝﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞをご案内しています。	
保	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	見学時や契約時の来訪の時に詳しくご説明をさせていただいており、変更改定された内容は、適宜ご案内しております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	7	1	お子様や保護者の意思を尊重し、子の最善の利益を優先しながら、子やご家族の意向を定期的にお伺いする機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	1	アセスメントとモニタリングの後に、児童発達支援計画書を示しながら説明をおこない保護者から同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	ご利用いただいた送迎のお送りの際に子どもの発達の状況や課題について報告を行うと共に必要に応じて個別に相談や面談の時間を設けています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	6	夏祭りイベントの際に、保護者ご家族様にも来所いただき、日々の支援にもご意向を確認して来所いただいておりましたが、今後は情報発信の機会を増やしていきたいと考えております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に児発管や児童に精通した職員が対応するよう受け付けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	Instagram等のSNSで活動記録を情報発信しています。行事等は受け渡しの際に、お知らせ書面を配布しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	職員に個人情報の取扱いについての研修及び指導を行っています。今後も個人情報保護に充分な配慮と取り組みを行ってまいります。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	絵カードや写真、イラスト、スケジュール表などを用いた視覚支援や筆談などを行い、その方の特性に応じて必要な配慮をおこないます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	防災訓練、避難訓練の際に、隣接店舗や地域住民の方々と連携した事業運営をおこなっており、今後も地域交流に取り組んでまいります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	事故防止、緊急時対応、防犯、非常災害時対応、BCP、感染症予防・対応等の各マニュアルを策定し、定期的に研修をおこなっています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	感染症BCPおよび自然災害BCPを策定しており、定期的に研修、避難、救出等の訓練をおこなっています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時にお子さまの状況について確認し、今までの経緯と症状に応じた判断や、非常時の連携機関など状況に合わせた対応方法を確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	契約時にお子様の状況について確認し、アレルギーの有無と対応方法について確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全計画を作成し、研修、点検、訓練の担当を決めて定期的に訓練を実施し安全管理につとめた運営をおこなっています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	7	1	こどもの安全確保のための安全計画に基づく説明や避難訓練ならびに防災訓練をおこなった取り組みを送迎時のフィードバック等で周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ささいなことでも報告書に記載しミーティングを通して職員で共有することで、発生を未然に防ぐ意識を高め、再発防止の方策を日々検討しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	社内の虐待防止委員会において虐待防止研修をおこない、職員間でも定期的に研修のなかで適切な対応を学び確認しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1	組織的に決定した内容を契約時に説明し、了承を得ています。必要に応じて児童発達支援計画に記載し反映しています。	